

## 平成27年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成27年6月25日（木）

18時30分～20時

場 所：生涯学習センター

出席者：間宮町長、露木副町長、川野企画財政課長、横井副主幹、立川主査

事務局：大澤町民課長、山本主任主事、小笹主任主事

参加者数：52人

### 1 開会

町民課長より開会のあいさつ

### 2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

### 3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

### 4 テーマ別説明

(1) 相和幼稚園・相和小学校の運営について、川野企画財政課長より説明

(2) 第5次総合計画「おおいきらめきプラン」後期基本計画について、立川主査より説明

(3) マイナンバー制度について、横井副主幹より説明

### 【質疑・応答】

○ きらめきの丘おおいは、なぜ区画割りをして複数の町内業者に任せるのではなく、小田原にある会社1社のみが担っているのか。その会社の人と町長がベルマーレの応援で一緒に映っている写真がある。何かしらの癒着があるのではないか。町長が情報を発信するときは、誤解が生じないように、情報を精査してから発信してもらいたい。

→ メガソーラーについては、5社ほどの事業者にプレゼンテーションを行ってもらった上で選定されたものである。これには審査員として県にも入ってもらった。審査対象には、地域貢献についてもあり、選定された業者は、環境教育や見学会などを行い、クリーンエネルギーの普及啓発に努めるといふこと、工事の際は町内業者に多く下請けしてもらおうということがあった。現在では、下山田の自治会館にソーラーパネルを設置したり、8つの自治会に発電機を寄付してもらったりしている。メガソーラーへの投資については、下山田から赤田へ抜ける集落間道路を整備する目的があり、また、地代として町への税収も生まれることから、事業を行った。

- メガソーラー事業を行う際に、区画割りをして複数の事業者、町内業者が担えるように、事業者から提案はできないのか  
→ ご提案としてお受けする。
  
- 昔は、家族は2・3世代が1つ世帯となり協力し合いながら生活してきた。このような形にしないと人口減少は止まらないのではないか。子どもが戻って親と暮らすような世帯を優遇できないか。  
→ 2・3世代と一緒に暮らすことができればそれが地域の力となり、それが望ましい姿であろうが、現代社会ではそれは難しくなっている。具体的な施策も難しい。
  
- 65歳以上での無年金者、生活保護受給者はどれくらいいるのか。そういった方の数を把握し、しっかりと対応してもらいたい。  
→ 生活保護受給者は100人いかない程度。総合計画、高齢者福祉計画では高齢者の方への施策を充実させている。国や県に高齢化・少子化に対する支援を要請していく。